

地 域 連 携 だ よ り

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

地域からの信頼を育てる リーダーとして

内科系診療局長
循環器内科主任部長
ICU/CCU部長

中野 顕



本年4月から内科系診療局長(兼循環器内科主任部長・ICU/CCU部長)を拝命しました。私が当院に赴任してすでに6年余りが経過しましたが、この間に地域医療を取り巻く環境は劇的に変わりました。最も大きな変化は高齢入院患者の急速な増加です。高齢者は併存疾患が多くADLの低下も大きいため、入院期間の延長と採算性の低下、さらには病床不足の原因となっています。限られた医療資源の活用と、さらなる高齢化に向けた対応が今後の課題です。また、当院の急性期医療の質の向上、地域からの信頼を得ることが最も重要であるとともに、地域医療機関とのさらなる連携強化が不可欠です。

もうひとつ大きな問題として、新臨床研修医制

度にもなう若手医師のさらなる地域偏在です。当地域においても将来的な医師不足は避けることができず、常勤医師不足による診療科の歯抜け状態の改善に危機感を持って取り組むことが必要です。幸いここ数年で研修医の数は徐々に増加し、本年4月からは5人の新たな初期臨床研修医を迎える事ができました。こうした研修医の中から将来の地域医療を担ってくれる専門医が育ってくれるものと確信しております。

時代は平成から令和を迎えました。新しい時代を地域の先生方とともに創り上げたいと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

大腸内視鏡透視システムが リニューアルしました

日本人の死亡数の第1位は悪性新生物で、そのうち**大腸がん**は**男性で第3位、女性では第1位**となっています。大腸内視鏡検査は大腸がんの発見と予防の双方において非常に重要な検査です。誰もが40歳を過ぎたら一度はすべき検査です。

大腸内視鏡検査は、苦痛をとまなうイメージをお持ちかと思いますが、当院ではできる限り苦痛を軽減するための取組みを行っています。

◆患者さんにやさしい検査方法

二酸化炭素でお腹の張りを軽減

検査中の送気を二酸化炭素で行っています。二酸化炭素は空気よりも大腸内からの消失が圧倒的に早いため、検査中や検査後のお腹の張りが軽減されます。

下剤の工夫

以前は2L飲まなければならない下剤を内服してもらっていましたが、現在は1Lの内服でよくなっており、以前より患者さんの負担が軽減されています。(水分は500ml内服していただきます)



下剤1L
+
水500ml

柔らかく細めの特殊な内視鏡



腹部の手術歴など大腸に癒着がある方は大腸が屈曲しており挿入困難であったり強い苦痛をとまなうことがあります。この内視鏡を使用することで痛みを軽減することができます。

◆大腸内視鏡透視システムのリニューアルによるメリット

2月から大腸内視鏡の透視システムを更新しました。これにより大腸内視鏡検査をしながら必要時、より鮮明なX線写真を残すことができるようになり、電子カルテの画像情報システムから閲覧することが可能となりました。

◆徹底した管理システム



当院では使用する内視鏡に関しては検査ごとにすべて高レベルの洗浄、消毒を行い、処置具はディスポーザブル製品を使用するなど、嚴重な感染対策を行っています。

専従の洗浄員が洗浄を行い、内視鏡マネジメントシステムと洗浄装置が連携しているため、いつ誰がどの内視鏡カメラをどの洗浄機でどのような工程で洗ったかを管理しています。徹底した感染管理システムにより患者さんに安心して検査を受けていただけます。



4月より

大腸内視鏡検査の直接予約を開始しました



当院内視鏡センターでは、平成31年4月1日から大腸内視鏡検査を地域医療連携室を通して直接ご予約していただけるようになりました。これにより患者さんは一度の来院で検査が終了することができ、より気軽にご紹介していただけるようになります。

内視鏡専門医をはじめ熟練した技術を持った医師、内視鏡技師、看護師が患者さんの検査治療に関わり、不安を軽減し苦痛の少ない検査を受けていただけるよう心がけています。

◆下部内視鏡検査までの流れ



内視鏡センター受付

受付で同意書・問診表・紹介状・お薬手帳など受け取ります。



腸管洗浄剤の内服の説明



腸管洗浄剤の内服を開始



検査室で検査を開始



検査着に着替える



便の状態

① 初回の便固形状	② 泥状便	③ カスが有る	④ 透明感のある液体

うすい黄色の水様便になれば検査可能

◆検査後は・・・

抗血小板/抗凝固剤を内服していない患者さんでポリープなどがあつた場合、検査医の総合的な判断により組織生検やポリープ切除を行います。そのため一回の検査で済み、患者さんの負担が軽減します。検査結果については検査終了時に患者さんへ画像を見ながら説明を行い、ご紹介元には書面にて返事をお送りします。

なお、病理組織結果が添付される場合は少々お時間をいただくことがあります。

抗血小板/抗凝固剤を内服している患者さんや出血の危険性が危惧される患者さんにつきましては、後日入院しての治療・検査となる可能性もありますので、ご了承ください。